



私たちは 『買われた』展

- 私が売春していたのは、小6の11月26日から始まり、2年間です。
- 「こいつらに捕まったのが私でよかった」と思うようにしていました。
- "男性" は私を道具としてしか見なかった。
- 「お金ないなら、稼いできてよ」 友達がいなくなるのが怖かった私は従った。
- 私から勉強がなくなったら、何も残らないと思った。
- JKビジネスがきっかけで お姉ちゃんに誘われて。
- 体を差し出す代わりにおにぎり一つもらった。

私たちが、いま、
ここに生きていることを知ってほしい。

企画展では「売春＝気軽に、遊ぶ金欲しさ」という世間のイメージに一石を投げ、そこにある暴力や、その影響を受けて生きる当事者の姿を伝えることで、子どものSOSに気づける人、背景に目を向ける人を増やしたい。
(☆Tsubomi 一同)

2017年7月13日(木) 10:00～18:00

会場：矯風会館1階ホール（入場は閉館30分前まで）

入場料：一般1500円、高校生以下は無料
前売券1300円（矯風会員1000円）

* 前売券の購入・問合せ先：矯風会事務局 新宿区百人町2-23-5
電話 03-3361-0934、FAX 03-3361-1160

主催：公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会
ECPAT/ストップ子ども買春の会

《企画展パネル制作：一般社団法人 Colabo、Colabo とつながる少女グループ Tsubomi》

